

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成26年4月~6月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成26年12月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
①延べ人数と実人数について	4
②調査エリアについて	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
①総数	5
②地域別入込客数	5
③月別入込客数	6
④市町村別・月別入込客数	7
⑤地域別・分類別入込客数	10
(3) 観光入込客数(実人数)	11
(4) 観光消費額	14
①観光消費額単価(日帰り宿泊別・県内県外別)	14
②観光消費額(日帰り宿泊別・県内県外別)	16

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	18
2. 観光客の動向分析	19
(1) 問1 住まいの地域	19
(2) 問2 性別・年代	20
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	21
(4) 問4 訪問の目的	23
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	23
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	24
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	24
(8) 問8 観光地への交通機関	25
(9) 問9 今回の旅行費用について	26

# 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

## 1. 調査概要

### (1) 調査対象期間

平成26年4月1日～平成26年6月30日（第1四半期）

### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

#### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

#### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

#### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

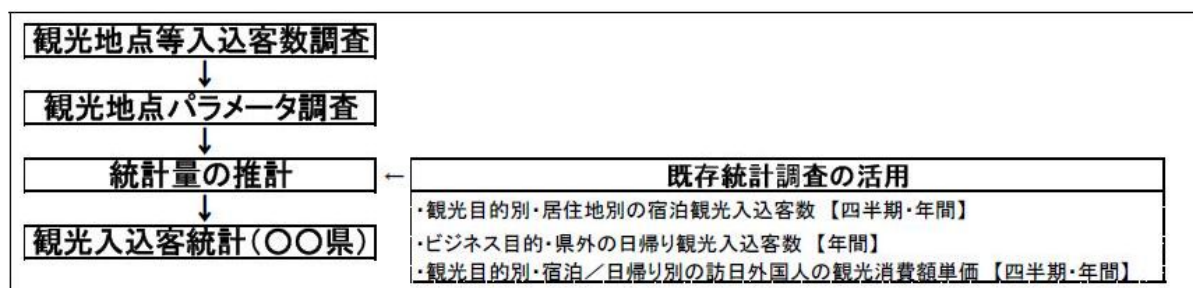


図1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

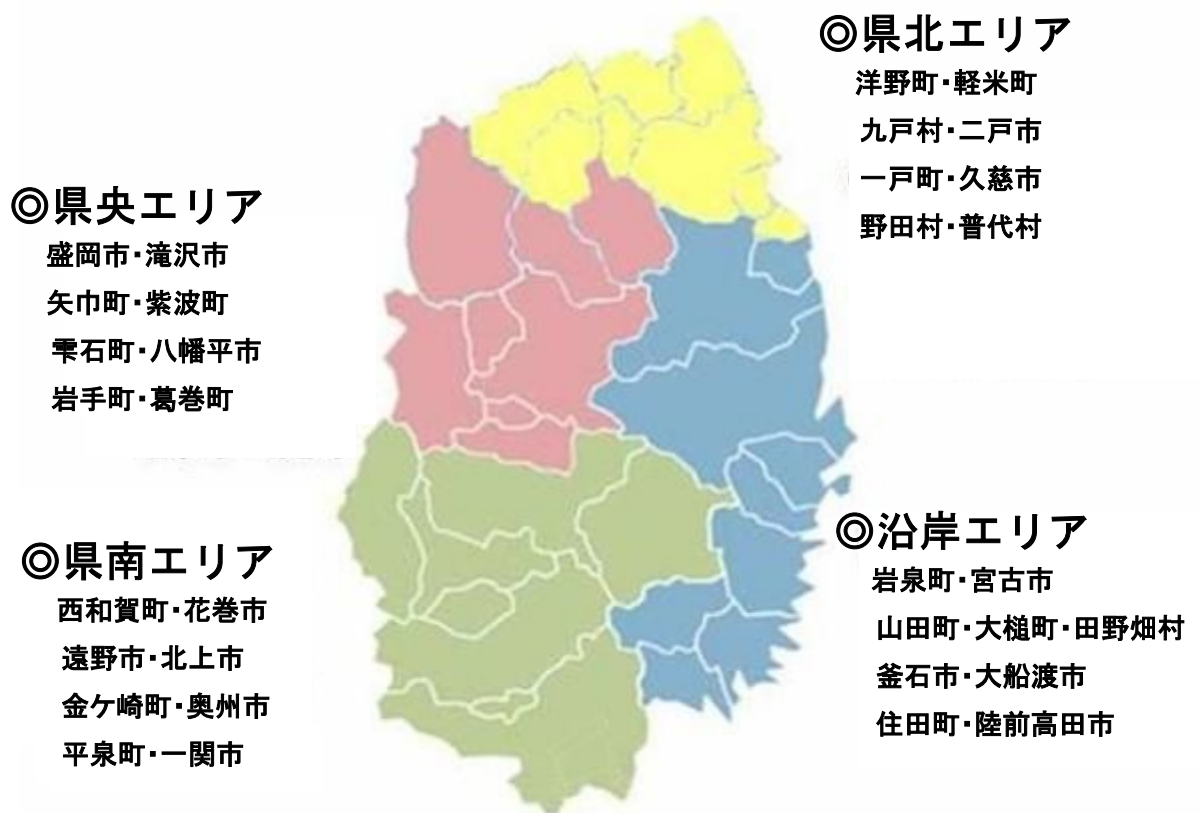


図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 262、行祭事・イベントが 110 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
262	33	57	74	54	23	21	110

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 26 年 4 月～6 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 7,627,012 人回となり、前年度比で 100.7%、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 100.5%となった。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県南エリアが 3,523,949 人回と最も多く、県北エリアが 810,089 人回と最も少ない。前年度比では、沿岸エリアが 111.0%、県北エリアが 100.7%と増加している。県南エリアは前年度比 98.8%、県央エリアは 98.2%と前年度よりやや減少している。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	4 月	5 月	6 月	平成 26 年度 4-6 期合計	平成 25 年度比	平成 25 年度 4-6 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 4-6 期合計
県央エリア	489,283	788,253	758,448	2,035,984	98.2%	2,072,903	108.7%	1,872,448
県南エリア	1,164,958	1,443,420	915,571	3,523,949	98.8%	3,567,393	101.6%	3,469,347
沿岸エリア	278,920	542,161	435,909	1,256,990	111.0%	1,132,479	81.6%	1,541,323
県北エリア	202,023	368,363	239,703	810,089	100.7%	804,748	114.9%	705,203
総計	2,135,184	3,142,197	2,349,631	7,627,012	100.7%	7,577,523	100.5%	7,588,321

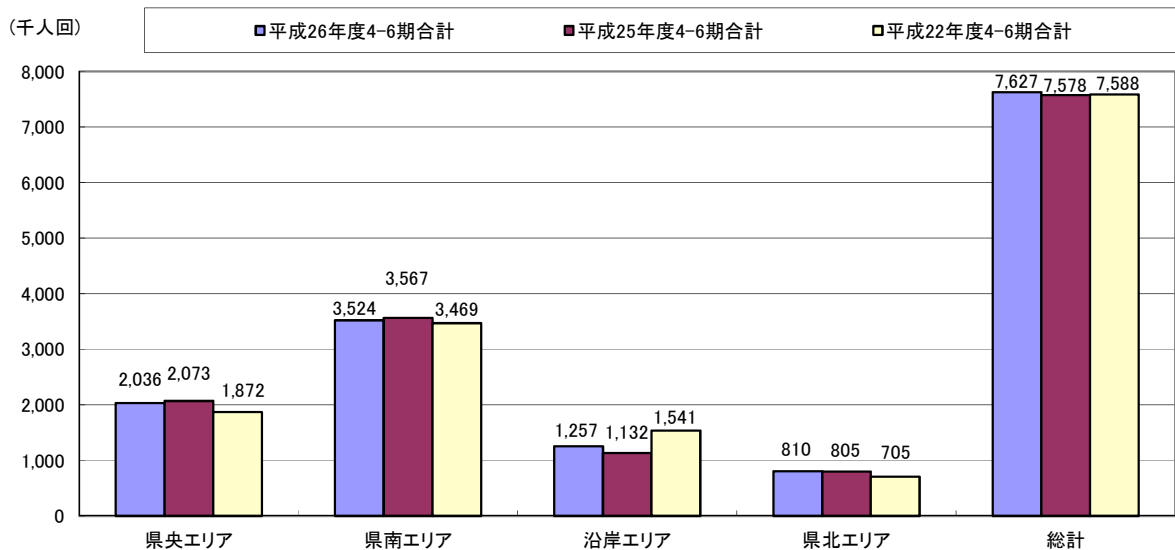


図3 地域別入込客数（延べ人数から算出）

### ③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数（延べ人数）は表3及び図4に示すとおりである。

5月が3,142,197人回と最も多く、大型連休と合わせて増加している。平成25年度比では、4月が110.1%、5月は97.9%、6月は96.7%となっている。平成22年度比では、4月及び6月がそれぞれ109.6%、103.3%と震災前を上回っているが、5月は100%を下回っている。

表3 月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

月	平成26年度	平成25年度比	平成25年度	平成22年度比	平成22年度
4月	2,135,184	110.1%	1,938,624	109.6%	1,947,672
5月	3,142,197	97.9%	3,209,976	93.3%	3,366,690
6月	2,349,631	96.7%	2,428,923	103.3%	2,273,959

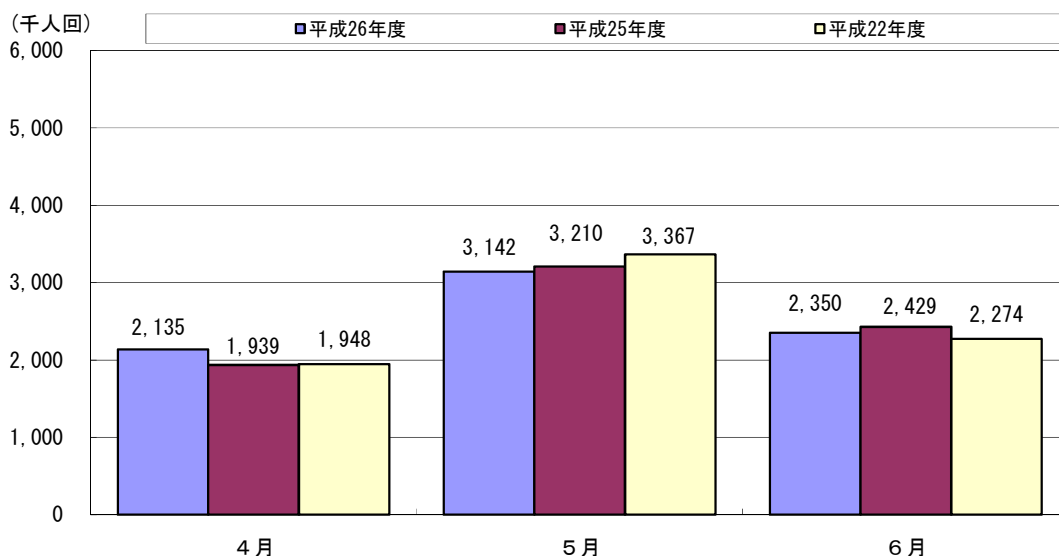


図4 月別入込客数（延べ人数から算出）



#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2、6-1、6-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは平泉町の693,081人回で、次いで盛岡市の641,840人回、北上市の586,523人回となった。また、前年度比では、九戸村157.1%、宮古市130.6%、野田村122.8%など、県北・沿岸の市町村の入込客数の増加が目立っている。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

市町村	4月	5月	6月	4-6期合計	平成25年度比	平成25年度4-6期合計	平成22年度比	平成22年度4-6期合計
盛岡市	114,651	238,485	288,704	641,840	94.9%	676,461	108.0%	594,367
宮古市	65,709	146,667	114,742	327,118	130.6%	250,533	109.6%	298,340
大船渡市	107,682	138,143	198,497	444,322	109.5%	405,735	125.6%	353,637
花巻市	110,535	200,462	222,388	533,385	105.8%	503,909	110.7%	481,833
北上市	467,672	95,360	23,491	586,523	102.2%	573,839	114.0%	514,438
久慈市	58,860	78,757	66,091	203,708	93.2%	218,630	206.0%	98,909
遠野市	108,097	187,041	143,753	438,891	93.3%	470,364	82.6%	531,643
一関市	123,219	235,470	188,952	547,641	97.4%	562,483	87.9%	622,937
陸前高田市	15,190	22,683	14,474	52,347	96.4%	54,281	25.0%	209,212
釜石市	12,730	18,765	13,315	44,810	63.5%	70,587	23.3%	192,455
二戸市	22,982	44,044	24,436	91,462	101.1%	90,454	89.2%	102,517
八幡平市	117,387	158,623	106,968	382,978	102.4%	374,075	139.3%	274,913
奥州市	217,774	149,201	142,273	509,248	102.1%	498,596	99.3%	512,725
滝沢市	10,589	54,859	66,104	131,552	103.0%	127,699	142.0%	92,662
雫石町	120,003	217,489	135,011	472,503	99.0%	477,429	110.1%	429,052
葛巻町	20,594	37,417	91,523	149,534	86.6%	172,636	82.8%	180,595
岩手町	15,626	24,465	21,299	61,390	98.3%	62,445	106.5%	57,640
紫波町	66,703	42,576	35,073	144,352	121.2%	119,146	87.1%	165,767
矢巾町	23,730	14,339	13,766	51,835	82.3%	63,012	66.9%	77,452
西和賀町	35,000	48,972	37,160	121,132	94.5%	128,241	99.8%	121,332
金ヶ崎町	31,445	32,237	30,366	94,048	99.0%	94,988	88.6%	106,144
平泉町	71,216	494,677	127,188	693,081	94.3%	734,973	119.8%	578,295
住田町	6,665	11,281	8,054	26,000	88.5%	29,370	77.9%	33,393
大槌町	-	-	-	-	-	-	-	21,123
山田町	16,622	19,471	18,646	54,739	101.4%	53,984	69.3%	78,984
岩泉町	24,222	53,151	31,031	108,404	107.8%	100,539	90.4%	119,929
田野畑村	30,100	132,000	37,150	199,250	119.0%	167,450	85.1%	234,250
普代村	3,185	5,369	8,141	16,695	102.8%	16,241	145.6%	11,468
軽米町	4,983	27,481	7,449	39,913	95.5%	41,796	72.9%	54,768
野田村	28,525	36,786	32,169	97,480	122.8%	79,392	120.6%	80,834
九戸村	5,311	6,749	6,669	18,729	157.1%	11,918	166.5%	11,247
洋野町	58,731	109,381	63,991	232,103	98.3%	236,043	100.4%	231,182
一戸町	19,446	59,796	30,757	109,999	99.8%	110,274	96.3%	114,278
総計	2,135,184	3,142,197	2,349,631	7,627,012	100.7%	7,577,523	100.5%	7,588,321

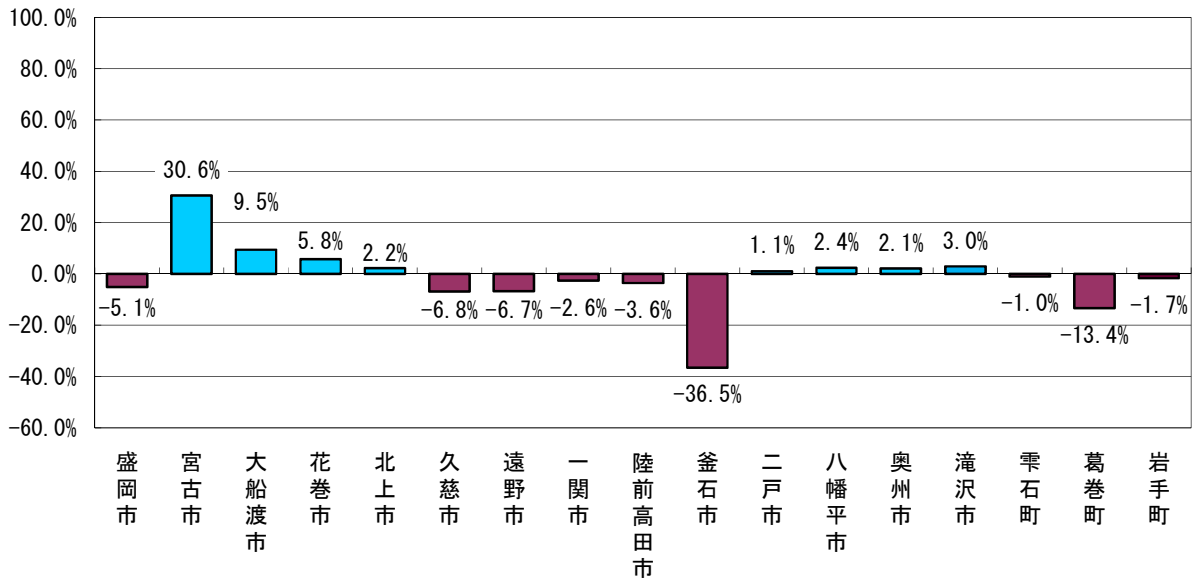


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成25年度増減比(1)

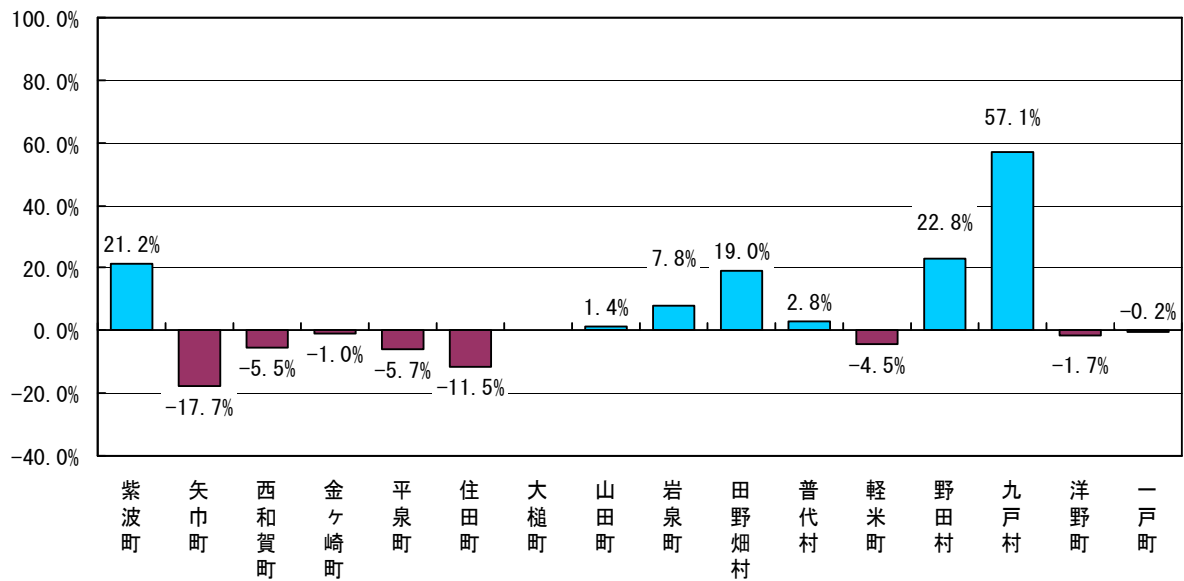


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成25年度増減比(2)

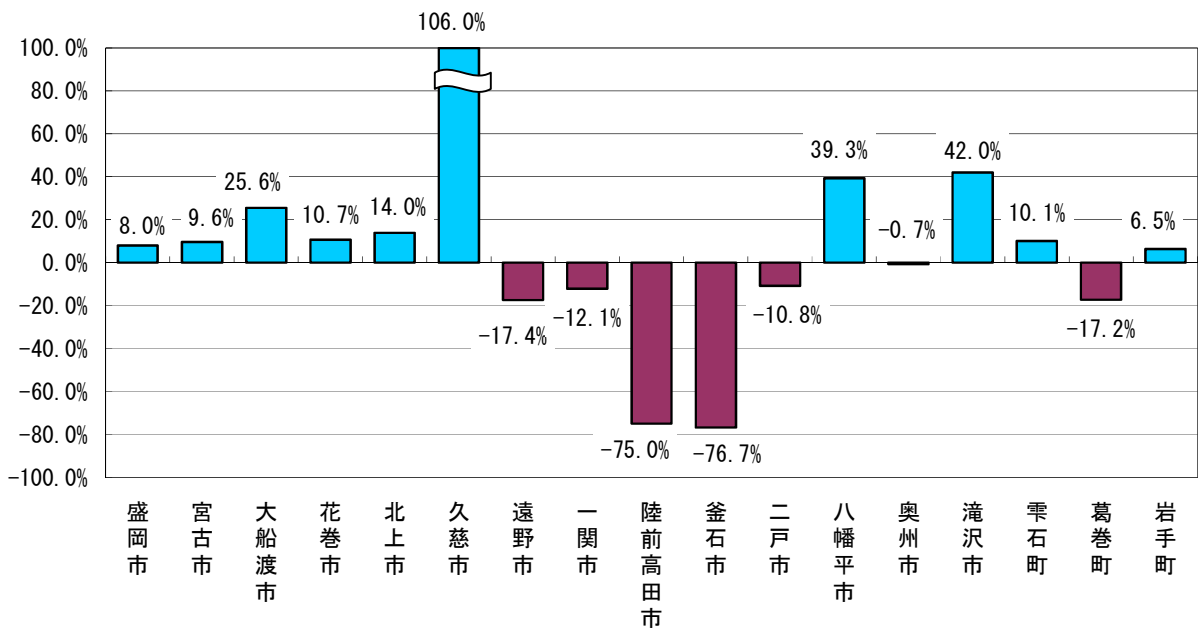


図 6-1 市町村別・月別入込客数 平成 22 年度増減比 (1)

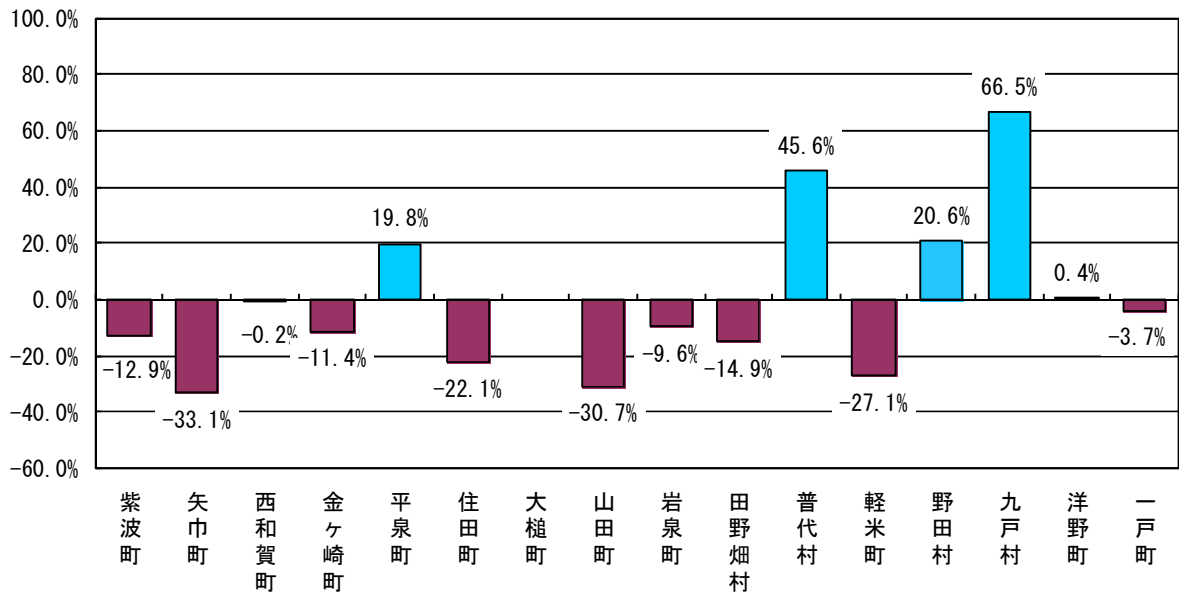


図 6-2 市町村別・月別入込客数 平成 22 年度増減比 (2)

### ⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表 5 及び図 7 に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「行事・イベント」が 1,599,678 人回と最も多く、県南エリアで最も多い入込割合を占めている。次いで「自然」の 1,468,087 人回であり、沿岸エリアで最も多い入込割合を占めている。

また、県央エリアでは「温泉・健康」の入込割合が多く、県北エリアでは「その他」の道の駅等での入込客が主となっている。

表 5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	353,243	252,741	555,680	369,071	55,841	202,893	246,515
県南エリア	372,587	546,080	543,909	226,812	543,160	35,780	1,255,621
沿岸エリア	594,175	40,581	80,289	9,984	104,614	402,716	24,631
県北エリア	148,082	55,314	140,807	40,721	171,986	180,268	72,911
総計	1,468,087	894,716	1,320,685	646,588	875,601	821,657	1,599,678

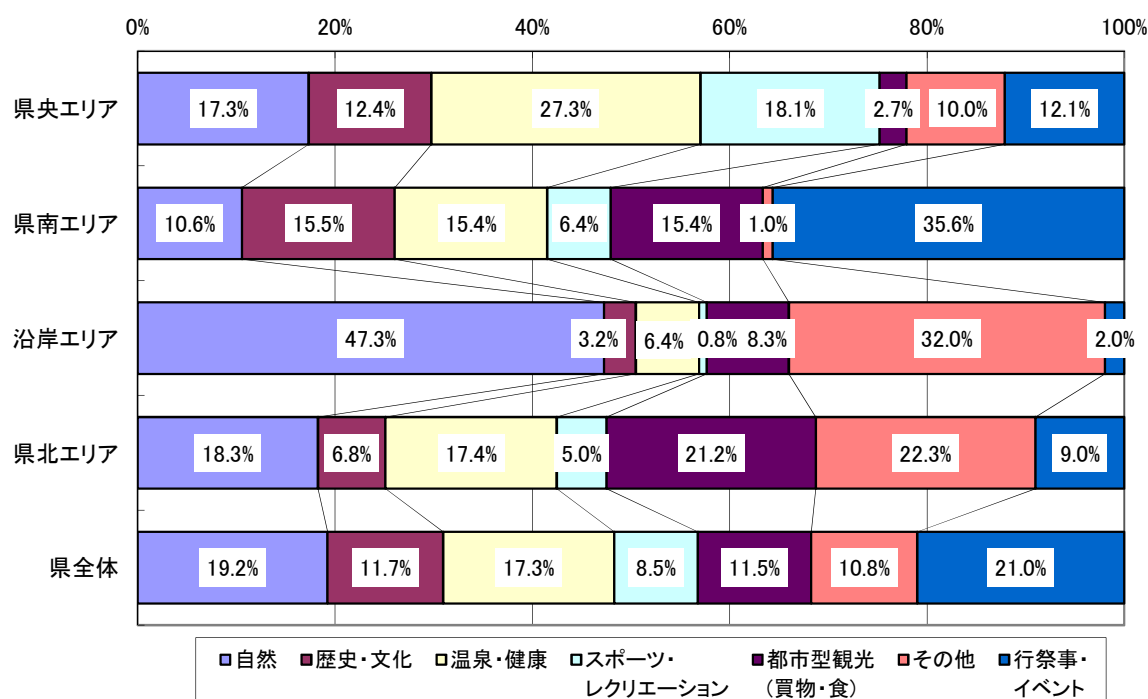


図 7 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6、表 7 及び図 8 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

総数は 2,661 千人・回で対前年度比 101.6%となっている。

目的別では、観光目的は対前年度比 90.1%と前年度より減少しているものの、ビジネス目的は 132.8%と大きく増加している。

宿泊・日帰り別では、宿泊は対前年度比 109.0%と前年度を上回っているが、日帰りが 96.4%と減少している。

また、これを県外・県内別でみると、県外が対前年度比 104.3%、県内が 98.3%となっている。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目		宿泊			日帰り			4-6 期 合計
		宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的 の入込客数	平成 26 年度 4-6 期合計	587	385	202	1,135	391	744	1,722
	平成 25 年度比	89.9%	86.9%	96.2%	90.2%	77.3%	98.8%	90.1%
	平成 25 年度 4-6 期合計	653	443	210	1,259	506	753	1,912
	平成 22 年度比	101.6%	105.5%	94.8%	37.1%	36.7%	37.3%	47.4%
	平成 22 年度 4-6 期合計	578	365	213	3,056	1,064	1,992	3,634
ビジネス目的 の入込客数	平成 26 年度 4-6 期合計	588	402	186	351	340	11	939
	平成 25 年度比	138.4%	140.1%	134.8%	124.5%	154.5%	17.7%	132.8%
	平成 25 年度 4-6 期合計	425	287	138	282	220	62	707
	平成 22 年度比	153.9%	151.7%	159.0%	302.6%	2833.3%	10.6%	188.6%
	平成 22 年度 4-6 期合計	382	265	117	116	12	104	498
合計	平成 26 年度 4-6 期合計	1,175	787	388	1,486	731	755	2,661
	平成 25 年度比	109.0%	107.8%	111.5%	96.4%	100.7%	92.6%	101.6%
	平成 25 年度 4-6 期合計	1,078	730	348	1,541	726	815	2,619
	平成 22 年度比	122.4%	124.9%	117.6%	46.8%	67.9%	36.0%	64.4%
	平成 22 年度 4-6 期合計	960	630	330	3,172	1,076	2,096	4,132

（注）入込客数には訪日外国人を含まない。

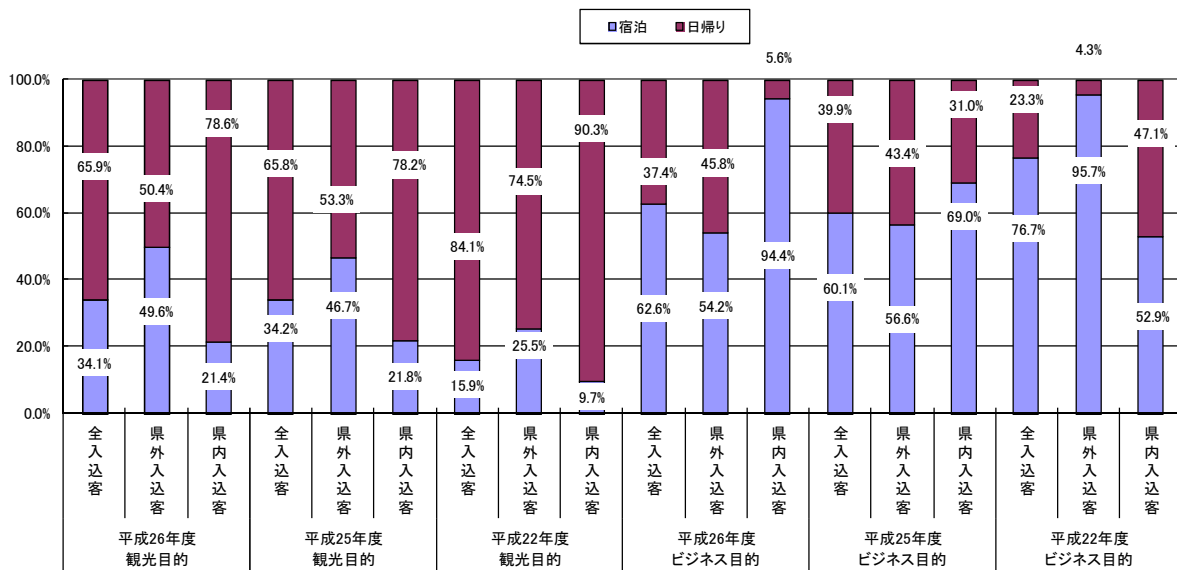


図8-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目		県外			県内			4-6期合計
		県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的入込客数	平成26年度4-6期合計	776	385	391	946	202	744	1,722
	平成25年度比	81.8%	86.9%	77.3%	98.2%	96.2%	98.8%	90.1%
	平成25年度4-6期合計	949	443	506	963	210	753	1,912
	平成22年度比	54.3%	105.5%	36.7%	42.9%	94.8%	37.3%	47.4%
	平成22年度4-6期合計	1,429	365	1,064	2,205	213	1,992	3,634
ビジネス目的入込客数	平成26年度4-6期合計	742	402	340	197	186	11	939
	平成25年度比	146.4%	140.1%	154.5%	98.5%	134.8%	17.7%	132.8%
	平成25年度4-6期合計	507	287	220	200	138	62	707
	平成22年度比	267.9%	151.7%	2833.3%	89.1%	159.0%	10.6%	188.6%
	平成22年度4-6期合計	277	265	12	221	117	104	498
合計	平成26年度4-6期合計	1,518	787	731	1,143	388	755	2,661
	平成25年度比	104.3%	107.8%	100.7%	98.3%	111.5%	92.6%	101.6%
	平成25年度4-6期合計	1,456	730	726	1,163	348	815	2,619
	平成22年度比	89.0%	124.9%	67.9%	47.1%	117.6%	36.0%	64.4%
	平成22年度4-6期合計	1,706	630	1,076	2,426	330	2,096	4,132

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

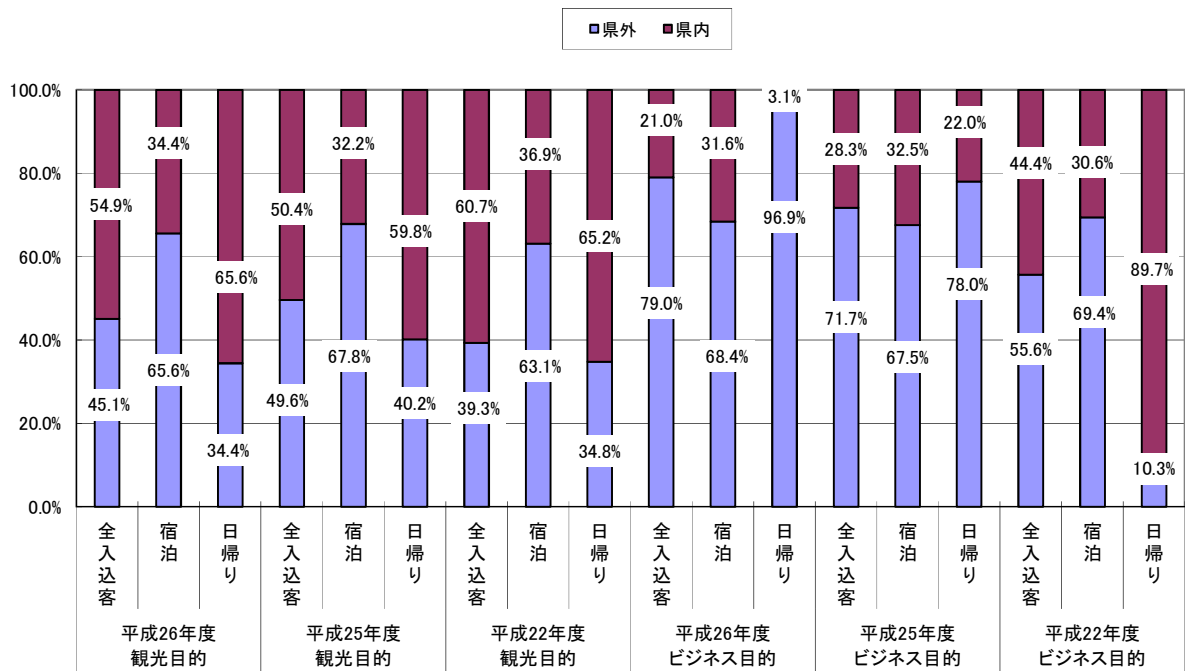


図 8-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れる訪日外国人入込客は表 7 に示すとおりである。宿泊客は前年度比より僅かに増加したが（107.1%）、日帰りの来県が無かったため、総数は前年度比 50.0%と半数に減少している。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			4-6 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
平成 26 年度 4-6 期合計	15	12	3	-	-	-	15
平成 25 年度比	107.1%	109.1%	100.0%	-	-	-	50.0%
平成 25 年度 4-6 期合計	14	11	3	16	16	0	30
平成 22 年度比	88.2%	92.3%	75.0%	-	-	-	88.2%
平成 22 年度 4-6 期合計	17	13	4	-	-	-	17

#### (4) 観光消費額

##### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 9 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的及びビジネス目的の観光消費額単価は表 8 に示すとおりである。県内の宿泊単価は対前年度比 108.0%、日帰り単価は 126.9%と増加し、平成 25 年度を上回っている。また、県外の宿泊単価は対前年度比 121.0%、日帰り単価は 137.4%と、県外客の増加率は県内客を上回っている。

一方、県内の宿泊単価及び県外の日帰り単価は平成 22 年度を下回っており、震災前の観光消費額単価までは改善していない。

なお、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、ビジネス目的観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きいため、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目		宿泊		日帰り	
		県外	県内	県外	県内
観光目的	平成 26 年度 4-6 期 観光消費額単価	32,767	15,544	8,517	5,438
	平成 25 年度比	121.0%	108.0%	137.4%	126.9%
	平成 25 年度 4-6 期 観光消費額単価	27,082	14,391	6,197	4,286
	平成 22 年度比	107.2%	73.1%	96.8%	143.0%
	平成 22 年度 4-6 期 観光消費額単価	30,556	21,257	8,799	3,803
ビジネス目的	平成 26 年度 4-6 期 観光消費額単価	47,537	14,608	3,913	4,837
	平成 25 年度比	177.3%	164.0%	107.1%	160.0%
	平成 25 年度 4-6 期 観光消費額単価	26,815	8,905	3,653	3,023
	平成 22 年度比	167.7%	75.9%	61.4%	157.1%
	平成 22 年度 4-6 期 観光消費額単価	28,350	19,238	6,374	3,078

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。



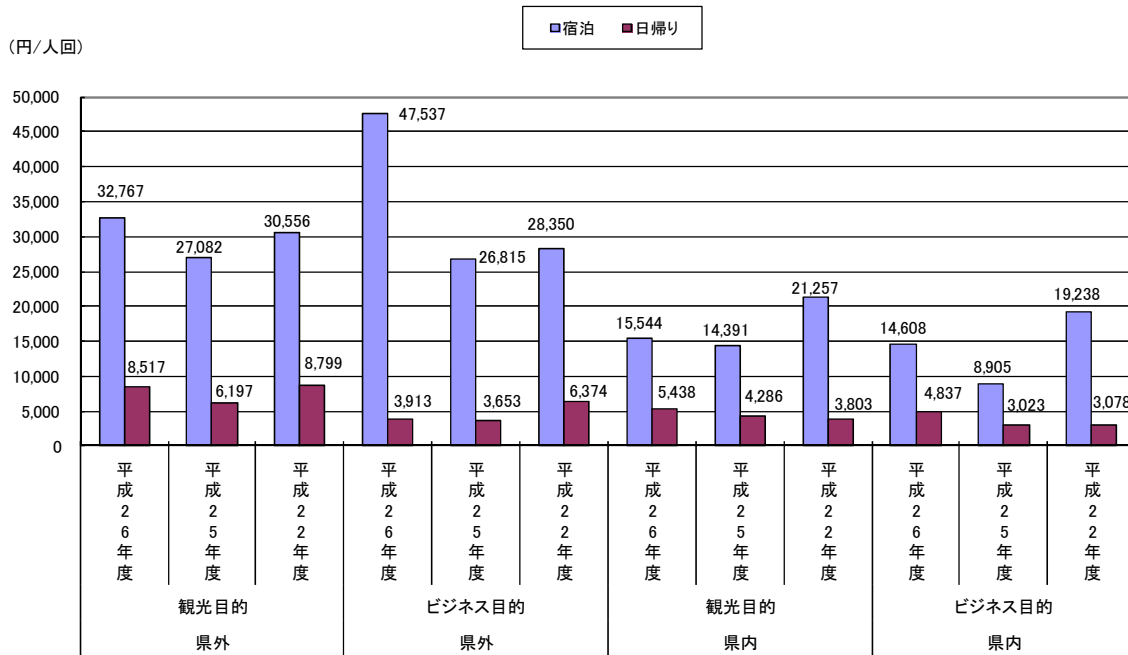


図9 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。  
 観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
平成26年度4-6期 観光消費額単価	57,658	79,141	11,129	9,897
平成25年度比	94.5%	109.5%	79.1%	97.9%
平成25年度4-6期 観光消費額単価	60,988	72,305	14,068	10,110
平成22年度比	34.5%	179.6%	9.0%	61.0%
平成22年度4-6期 観光消費額単価	167,041	44,060	122,981	16,218

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 10 に示すとおりである。

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額の総額は対前年度比 148.2%であった。宿泊及び日帰り別では、どちらとも前年度を上回っている。要因としては、観光目的の入込客は前年度より減少したものの、ビジネス目的の入込客が前年度より増加したこと、消費額単価が改善されたことから、観光消費額が前年度を上回る結果となった。

一方、ビジネス目的観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 6-1 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、ビジネス目的の入込客のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きく、割合の増減も大きくなると考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額	
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内		
観光目的	平成 26 年度 4-6 期 観光消費額	15,766	12,631	3,135	7,375	3,328	4,047	23,141
	平成 25 年度比	105.1%	105.4%	104.0%	115.9%	106.1%	125.4%	108.3%
	平成 25 年度 4-6 期 観光消費額	15,002	11,987	3,015	6,364	3,138	3,226	21,366
	平成 22 年度比	100.5%	113.2%	69.3%	43.5%	35.5%	53.4%	70.9%
	平成 22 年度 4-6 期 観光消費額	15,681	11,155	4,526	16,937	9,363	7,574	32,618
ビジネス目的	平成 26 年度 4-6 期 観光消費額	21,830	19,119	2,711	1,385	1,331	54	23,215
	平成 25 年度比	244.7%	248.6%	220.2%	139.5%	165.3%	28.7%	234.2%
	平成 25 年度 4-6 期 観光消費額	8,921	7,690	1,231	993	805	188	9,914
	平成 22 年度比	223.9%	254.7%	120.8%	353.3%	1,823.3%	16.9%	228.9%
	平成 22 年度 4-6 期 観光消費額	9,751	7,506	2,245	392	73	319	10,143
合計	平成 26 年度 4-6 期 観光消費額	37,596	31,750	5,846	8,760	4,659	4,101	46,356
	平成 25 年度比	157.2%	161.4%	137.7%	119.1%	118.2%	120.1%	148.2%
	平成 25 年度 4-6 期 観光消費額	23,923	19,677	4,246	7,357	3,943	3,414	31,280
	平成 22 年度比	147.8%	170.1%	86.3%	50.6%	49.4%	52.0%	108.4%
	平成 22 年度 4-6 期 観光消費額	25,432	18,661	6,771	17,329	9,436	7,893	42,761

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

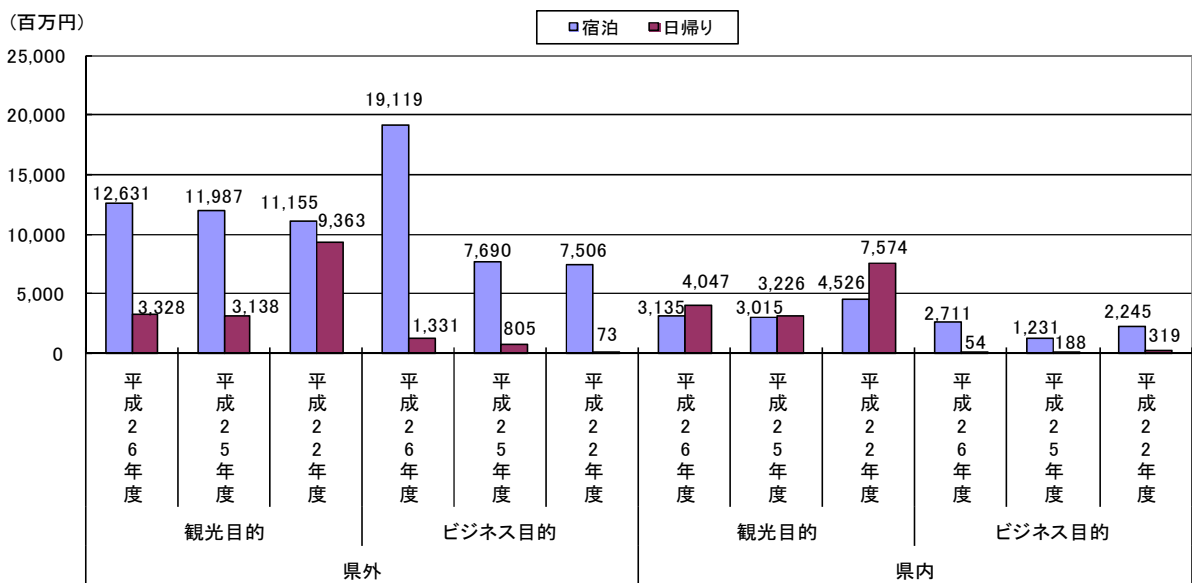


図 10 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 25 年度比 86.3%、平成 22 年度比 86.6%である。また、宿泊総額では、平成 25 年度比 108.2%、平成 22 年度比 86.6%である。

一方、観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 7 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいと考えられる。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
平成 26 年度 4-6 期 観光消費額	955	712	243	-	-	-	955
平成 25 年度比	108.2%	108.7%	106.6%	-	-	-	86.3%
平成 25 年度 4-6 期 観光消費額	883	655	228	224	224	0	1,107
平成 22 年度比	86.6%	121.3%	47.1%	-	-	-	86.6%
平成 22 年度 4-6 期 観光消費額	1,103	587	516	-	-	-	1,103

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成26年6月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所を実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 864件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	6/15	95	444
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	6/15	104	571
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	6/14	78	263
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	6/22	105	511
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	6/21	103	519
えさし藤原の郷	奥州市	県南地域	6/29	59	324
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	6/22	76	541
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	6/14, 15	66	276
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	6/29	118	569
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	6/28, 29	60	456
合計				864	4,474

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の3割強(34.6%)は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約7割(65.4%)である。海外からの来訪者は0人(0.0%)であった。

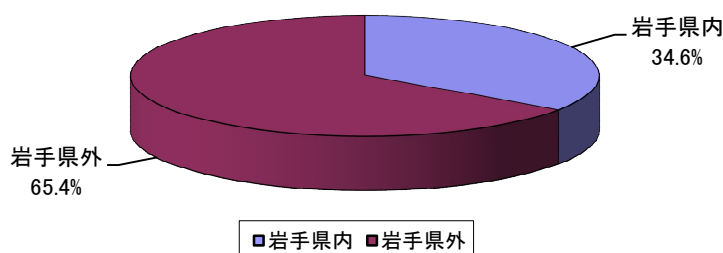


図11 地域別・分類別入込割合(延べ人数から算出)

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。

県外客で最も人数が多いのは宮城県(20.0%)、次いで青森県(13.1%)、東京都(11.9%)、秋田県(10.8%)であり、これらの4都県で5割以上(55.8%)を占めている。

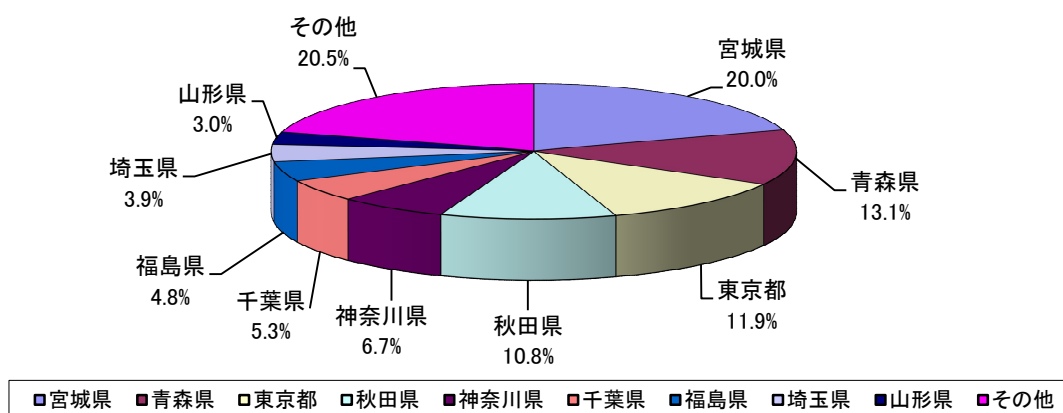


図12 県外客の住まいの地域(岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く)

表13 各県当たり観光客数および比率(岩手県及び来訪者0人の県を除く)

宮城県	青森県	東京都	秋田県	神奈川	千葉県	福島県	埼玉県	山形県	愛知県	栃木県	群馬県
113	74	67	61	38	30	27	22	17	14	12	10
20.0%	13.1%	11.9%	10.8%	6.7%	5.3%	4.8%	3.9%	3.0%	2.5%	2.1%	1.8%
茨城県	北海道	新潟県	長野県	静岡県	大阪府	兵庫県	岐阜県	福岡県	奈良県	広島県	山口県
9	8	6	6	6	6	6	4	4	3	3	3
1.6%	1.4%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.7%	0.7%	0.5%	0.5%	0.5%
石川県	京都府	岡山県	鹿児島	沖縄県	海外	山梨県	愛媛県	大分県	宮崎県		
2	2	2	2	2	2	1	1	1	1		
0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%		

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図13である。この図より、性別の構成をみると男性が多い(54.7%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、岩手県外来訪者は「60歳代」が最も多いことがわかる(岩手県外:28.8%)。また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、40歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内:63.5%、岩手県外:70.2%)

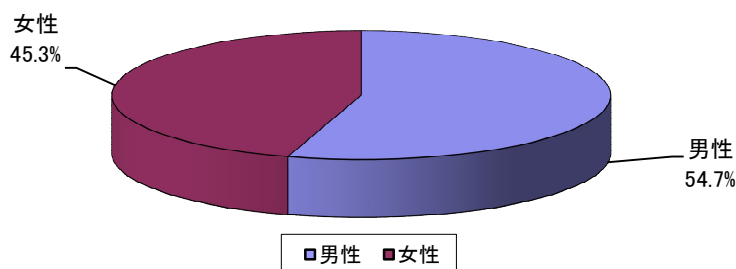
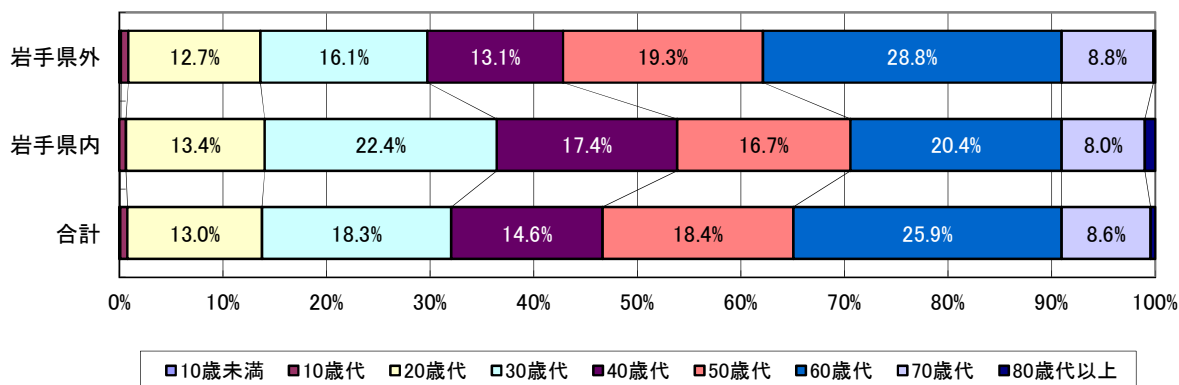


図13 来訪者の性別



	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
合計	0.1%	0.7%	13.0%	18.3%	14.6%	18.4%	25.9%	8.6%	0.5%
岩手県内	0.0%	0.7%	13.4%	22.4%	17.4%	16.7%	20.4%	8.0%	1.0%
岩手県外	0.2%	0.7%	12.7%	16.1%	13.1%	19.3%	28.8%	8.8%	0.2%

図14 岩手県内/外来訪者の年代構成(比率)

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図15である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（46.9%）と宿泊（53.1%）であった。

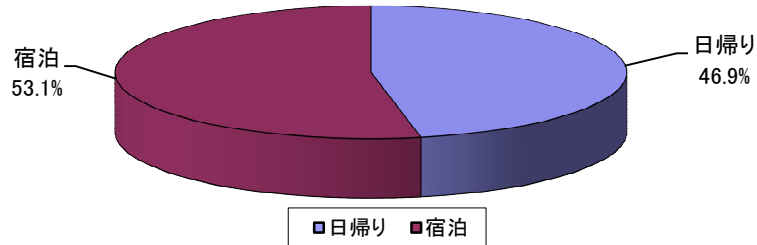


図15 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図16、17である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の5割以上（56.4%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が6割以上であった。（69.9%）

※宿泊数平均 2.4(泊) 県内宿泊数平均 1.5(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類数を集計しグラフ化したのが図18である。

この図より、岩手県内の宿泊者のほぼ9割（92.3%）は、宿泊施設の種類数は「1種類」であった。

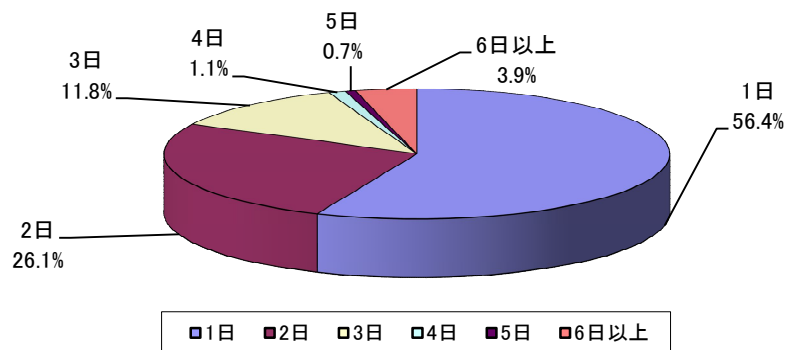


図16 宿泊数（全日程）

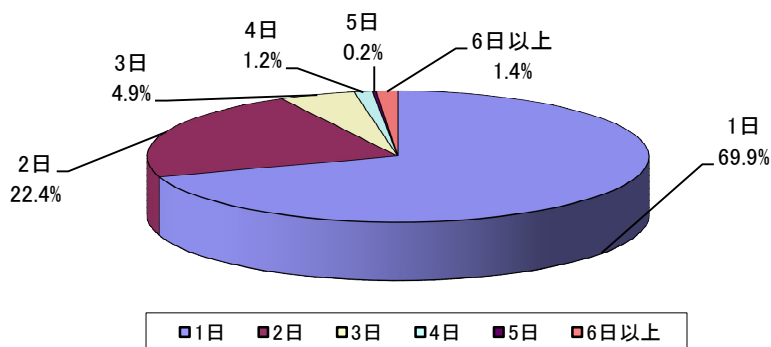


図17 岩手県内宿泊数

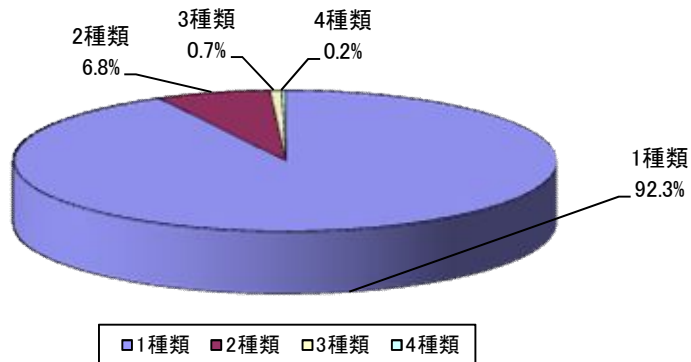


図 18 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(60.7%) が最も多く、次いで「旅館」(18.7%) である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(14.8%) であり、これら以外の宿泊施設利用は 5.6% であった。

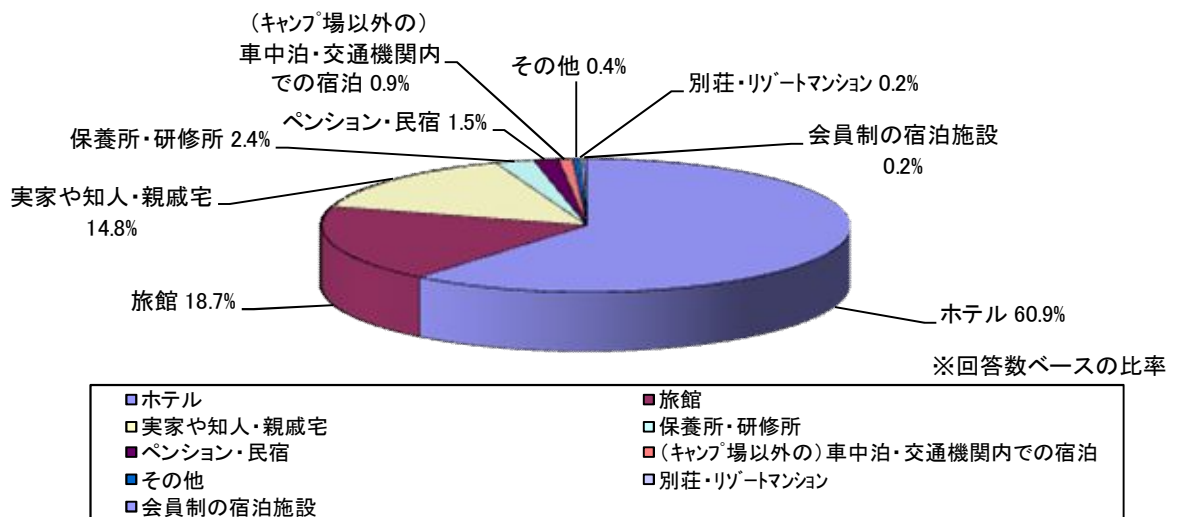


図 19 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

施設の種類	割合	人数
ホテル	60.9%	283 人
旅館	18.7%	87 人
実家や知人・親戚宅	14.8%	69 人
保養所・研修所	2.4%	11 人
ペンション・民宿	1.5%	7 人
(キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊	0.9%	4 人
その他	0.4%	2 人
別荘・リゾートマンション	0.2%	1 人
会員制の宿泊施設	0.2%	1 人



#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図 20 である。訪問の目的は「観光」が約 9 割 (89.1%) を占めており、次いで「帰省・知人訪問」(3.8%)、「ビジネス」(1.9%) である。

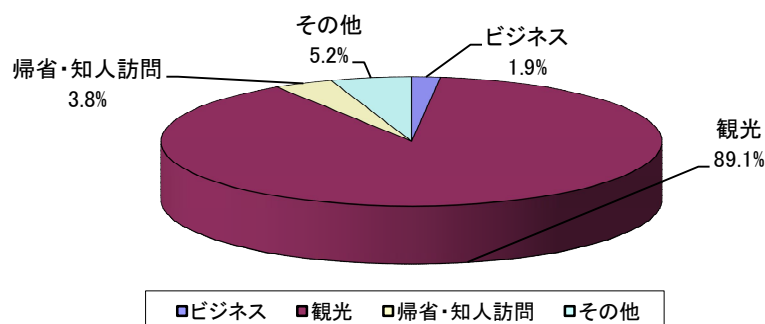


図 20 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 21 である。旅行人数が最も多かったのは「2人」(37.7%) であり、次いで「3人」(16.9%)、「5人-10人」(16.2%) であった。

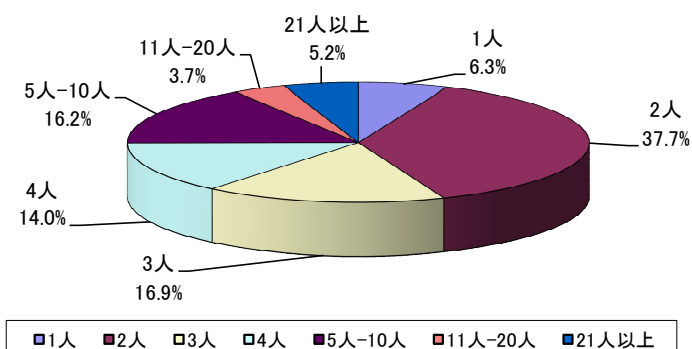


図21 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 22 である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」(66.7%)で、回答者全体の 6 割を占めた。次いで「友人」(22.2%)、「職場・学校等の団体旅行」(7.5%) などである。

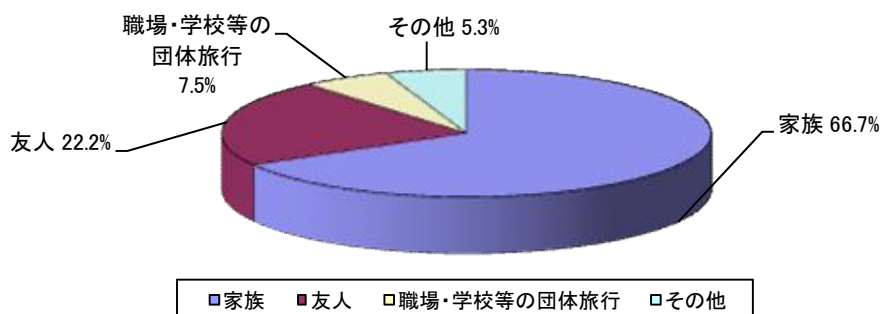


図22 同行者のタイプ

#### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6は、岩手県内観光地への訪問経験の認知に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち8割以上(86.6%)が「知っている」と回答した。

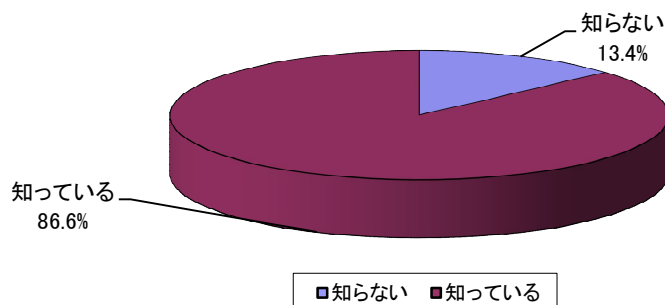


図23 観光地訪問の認知

#### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、約8割強(85.8%)の来訪者が「知っている」と回答した。

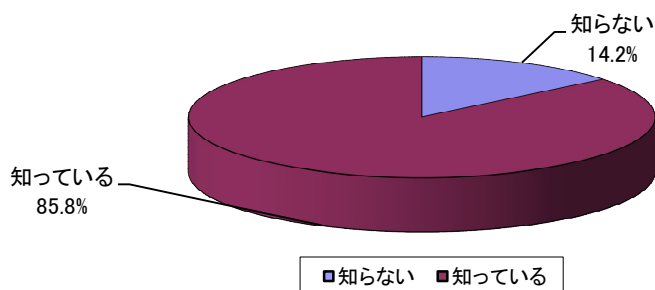


図24 岩手県訪問の認知(岩手県外来訪者)

(8) 問8 観光地への交通機関及び立寄り観光地

<観光地への交通機関>

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。

この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(68.4%)であり、次いで「JR新幹線」(17.9%)、「貸切バス・観光バス」(6.8%)であった。この上位3位で全体の9割以上(93.1%)を占めている。

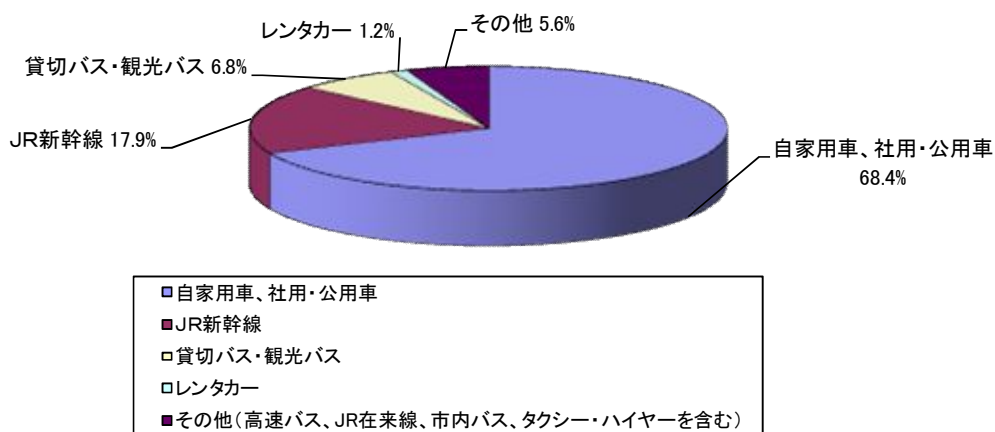


図25 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳(比率)

自家用車、社用・公用車	J R新幹線	貸切バス・観光バス	その他
68.4%	17.9%	6.8%	4.3%
レンタカー	高速バス	J R在来線	市内バス
1.2%	0.9%	0.2%	0.1%
タクシー・ハイヤー	私鉄・地下鉄	モノレール	市内電車
0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

(9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外における交通費を集計したグラフが図28、29である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の6割以上（66.8%）が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の約9割（89.6%）を占めているのに対し、県外からの来訪者は約5割（54.7%）にとどまり、4割（45.3%）は2,000円以上を支出している。

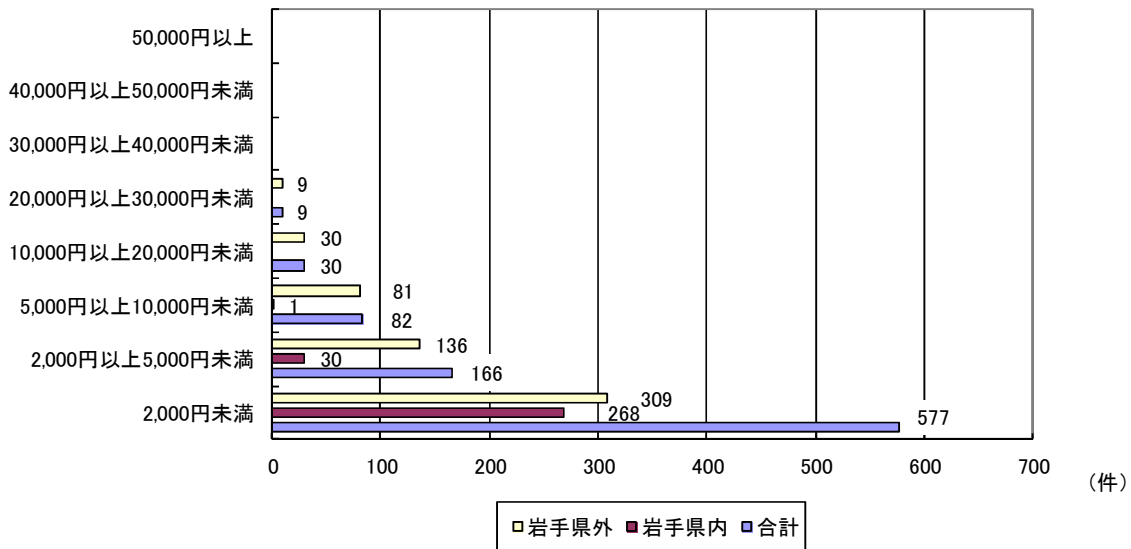


図26 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）

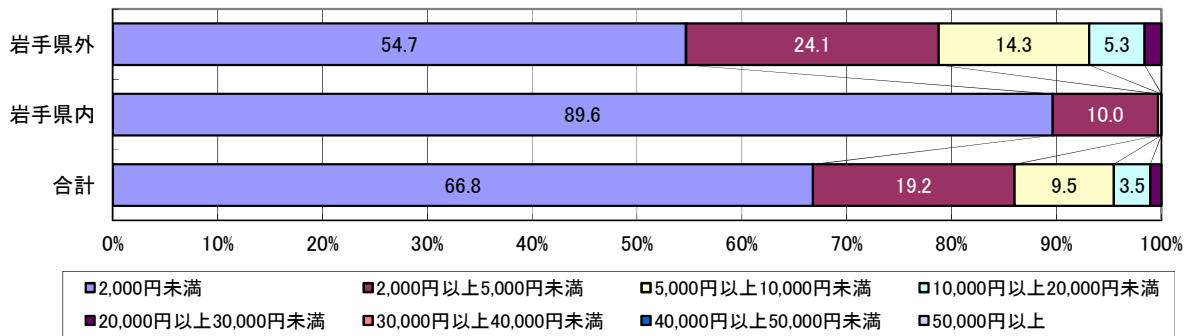


図27 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の5割（50.9%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者ではこの価格帯で約10割（99.3%）を占めるものの、県外からの来訪者では約2割（25.3%）となっている。県内からの来訪者の多くが岩手県内のみの旅程であることが窺える。

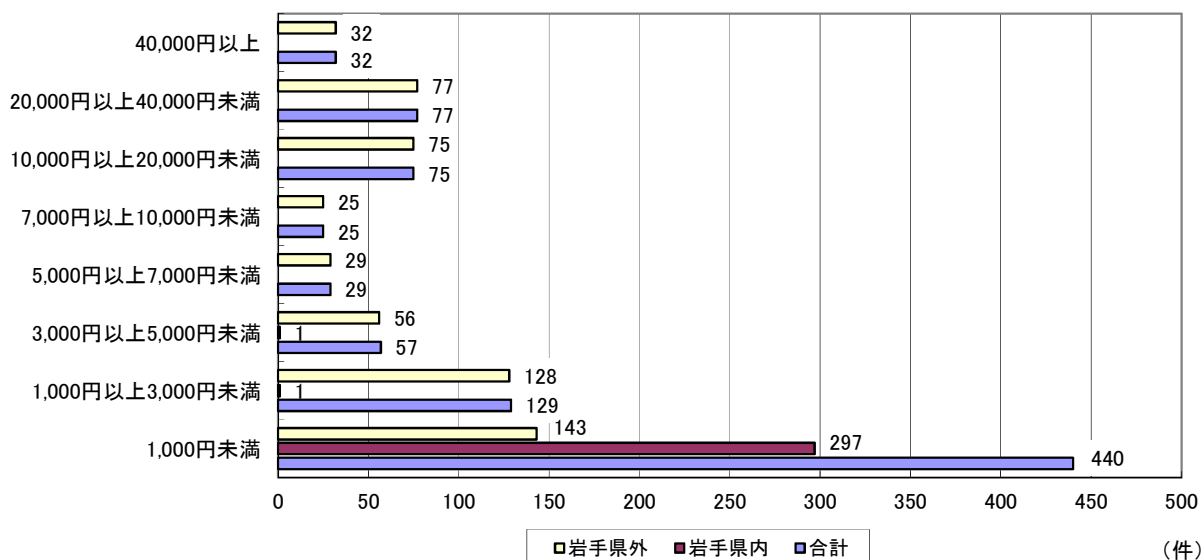
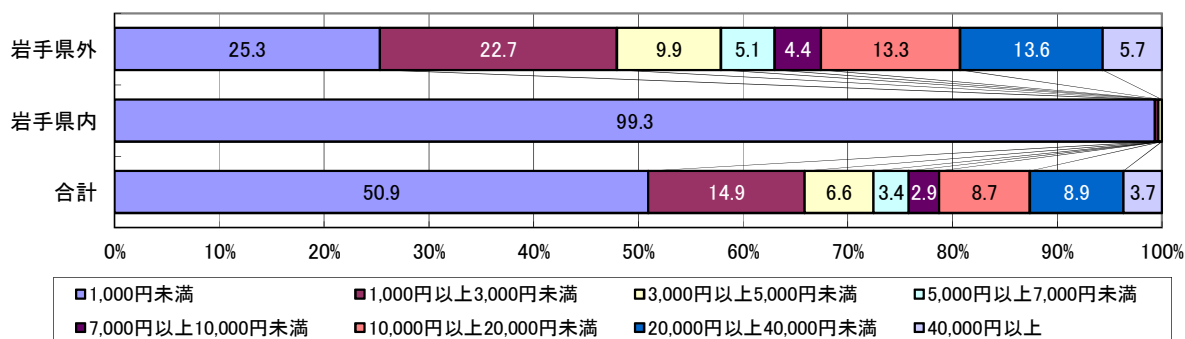


図28 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	50.9%	14.9%	6.6%	3.4%	2.9%	8.7%	8.9%	3.7%
岩手県内	99.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	25.3%	22.7%	9.9%	5.1%	4.4%	13.3%	13.6%	5.7%

図29 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。

宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が約5割（46.9%）を占めていることに所由する。

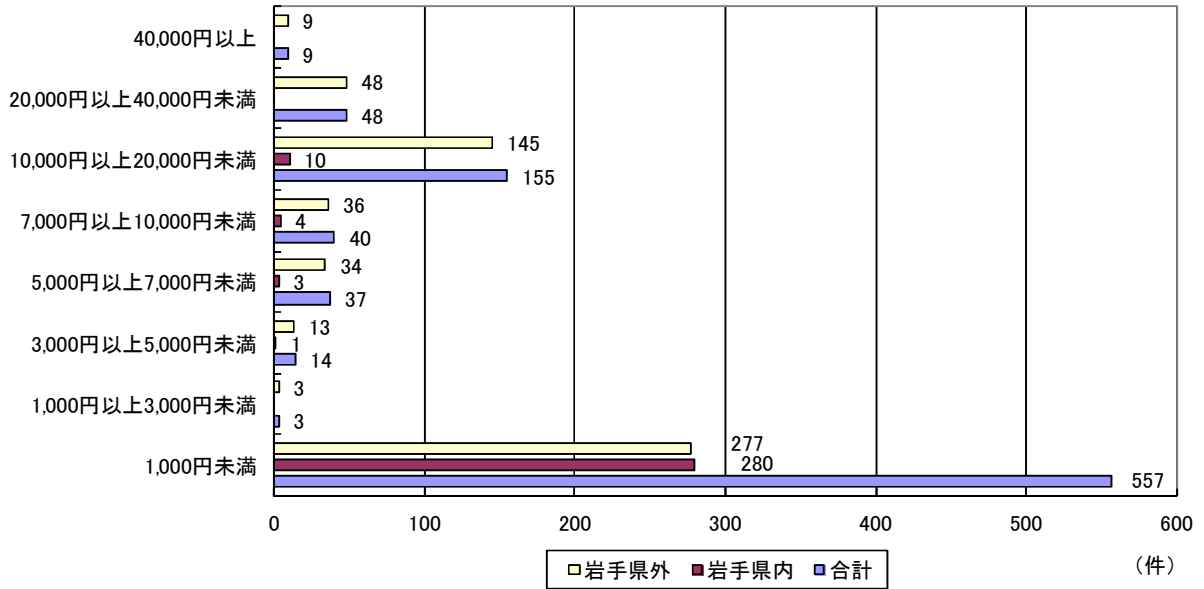
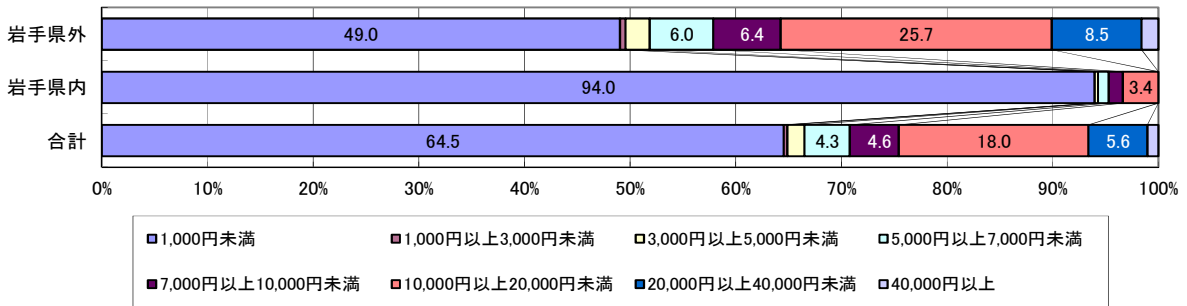


図30 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	64.5%	0.3%	1.6%	4.3%	4.6%	18.0%	5.6%	1.0%
岩手県内	94.0%	0.0%	0.3%	1.0%	1.3%	3.4%	0.0%	0.0%
岩手県外	49.0%	0.5%	2.3%	6.0%	6.4%	25.7%	8.5%	1.6%

図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックツアー利用者を除外して再集計しグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上20,000円未満」に2つのピークがあり、前者が約3割、後者が約4割であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の15.0%が影響しているものと思われる。

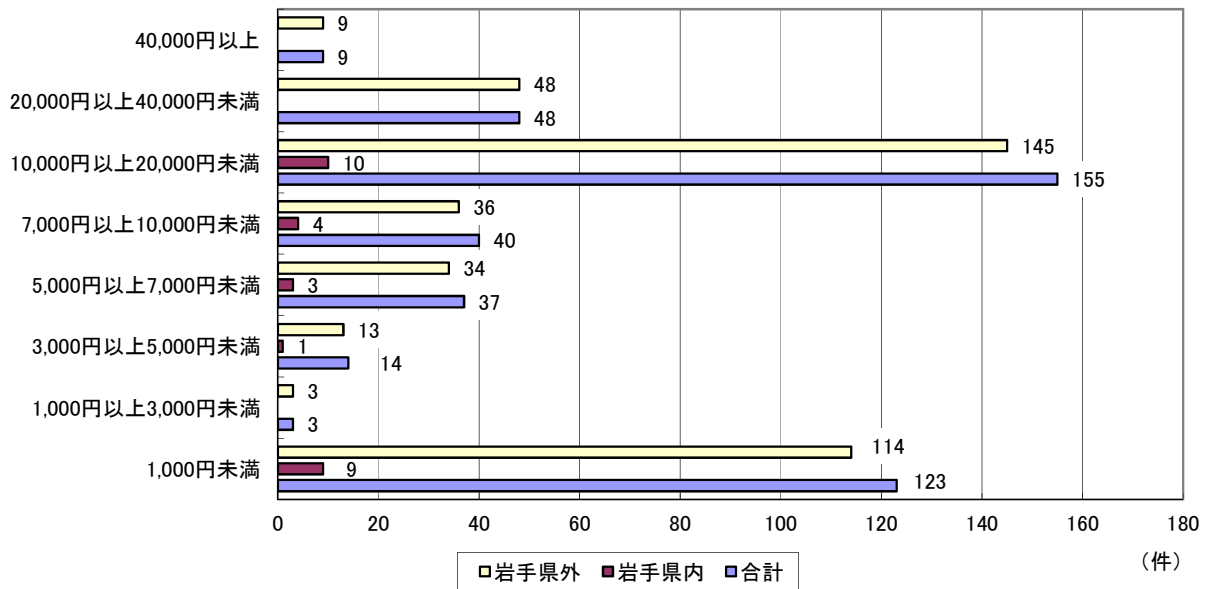
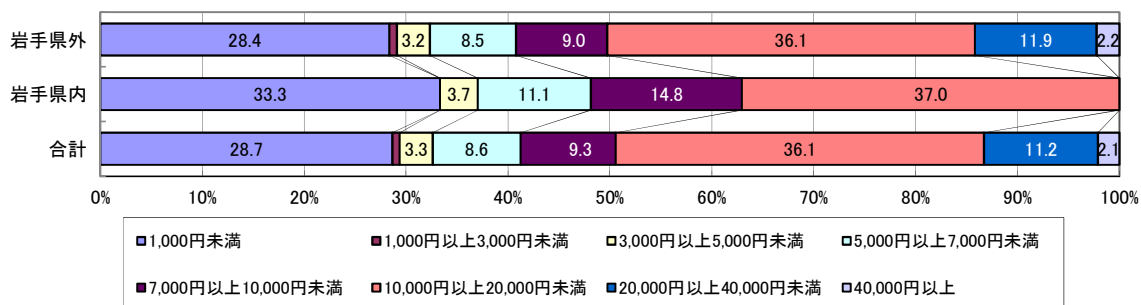


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	28.7%	0.7%	3.3%	8.6%	9.3%	36.1%	11.2%	2.1%
岩手県内	33.3%	0.0%	3.7%	11.1%	14.8%	37.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	28.4%	0.7%	3.2%	8.5%	9.0%	36.1%	11.9%	2.2%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)

本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したものが図32、33である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上(3,000円未満)」が37.8%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は8割(86.0%)となり、県外からの来訪者は約半数(44.6%)にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった(県内来訪者:14.0%、県外来訪者:55.5%)。

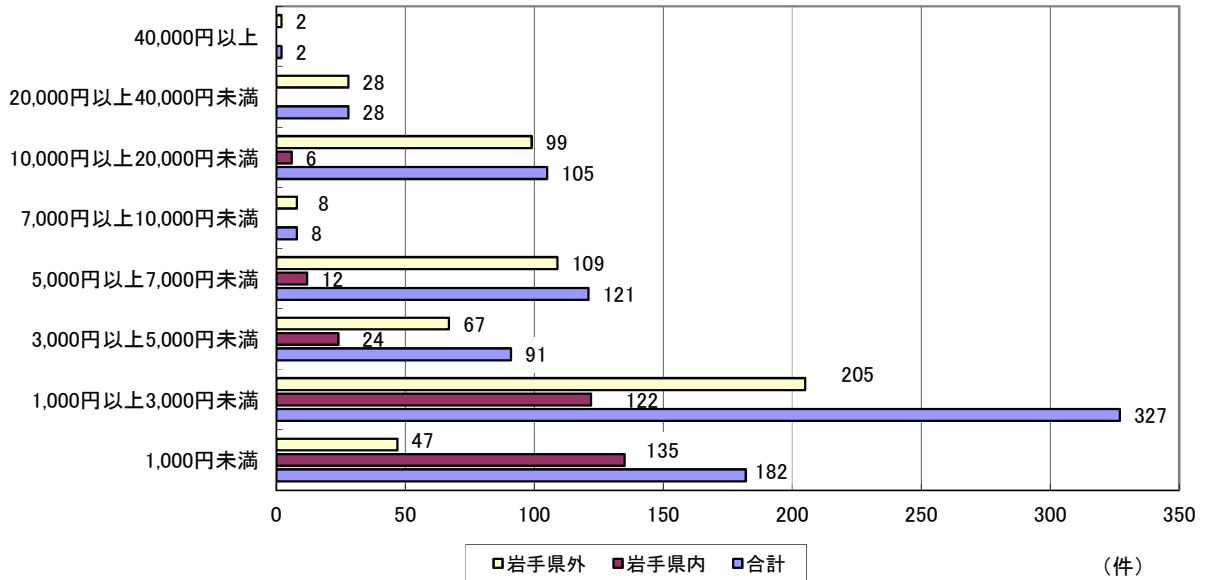
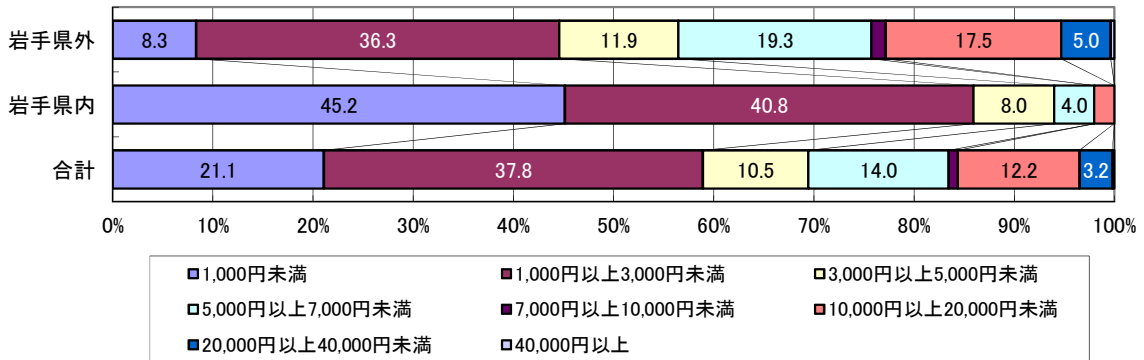


図32 岩手県内/外旅行費用の比較 (土産代・件数)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	21.1%	37.8%	10.5%	14.0%	0.9%	12.2%	3.2%	0.2%
岩手県内	45.2%	40.8%	8.0%	4.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	8.3%	36.3%	11.9%	19.3%	1.4%	17.5%	5.0%	0.4%

図33 岩手県内/外旅行費用の比較 (土産代・比率)



本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。

この図より、1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が52.2%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「10,000円以上 20,000円未満」がほぼ支出の上限であり、40,000円以上の価格帯では、県外からの来訪者のみあった（県内来訪者：0件、県外来訪者：2件）。

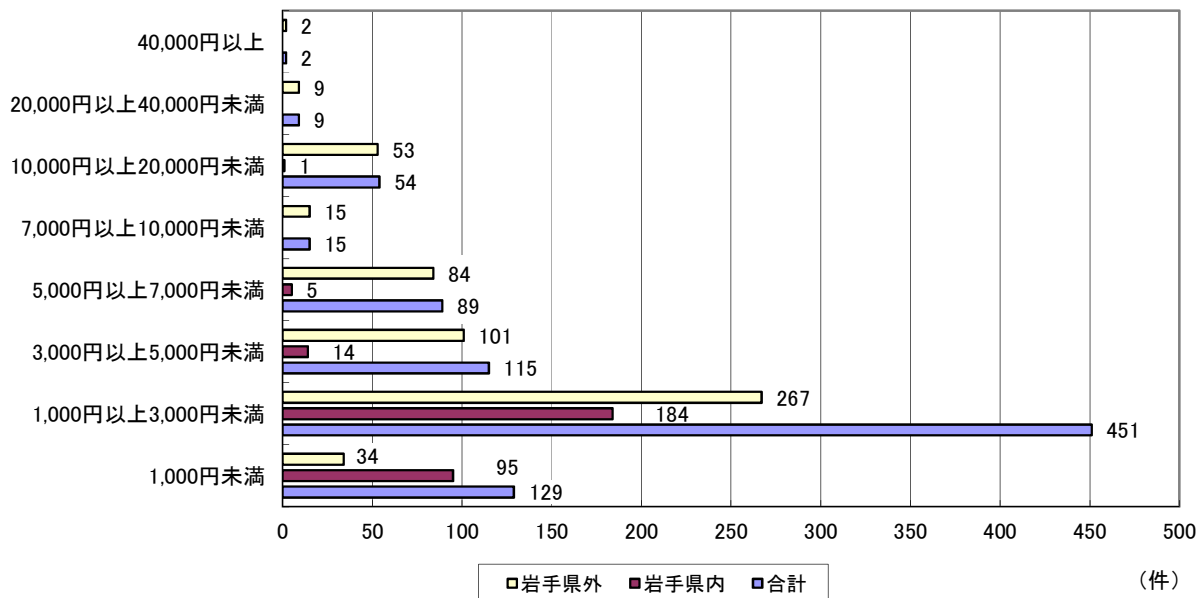
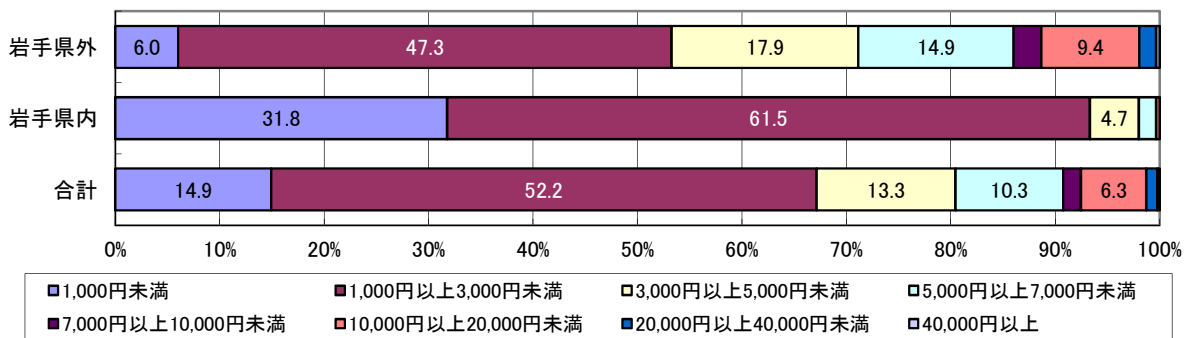


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	14.9%	52.2%	13.3%	10.3%	1.7%	6.3%	1.0%	0.2%
岩手県内	31.8%	61.5%	4.7%	1.7%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%
岩手県外	6.0%	47.3%	17.9%	14.9%	2.7%	9.4%	1.6%	0.4%

図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問より、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したものが図36、37である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：100.0%、県外来訪者：97.9%）。

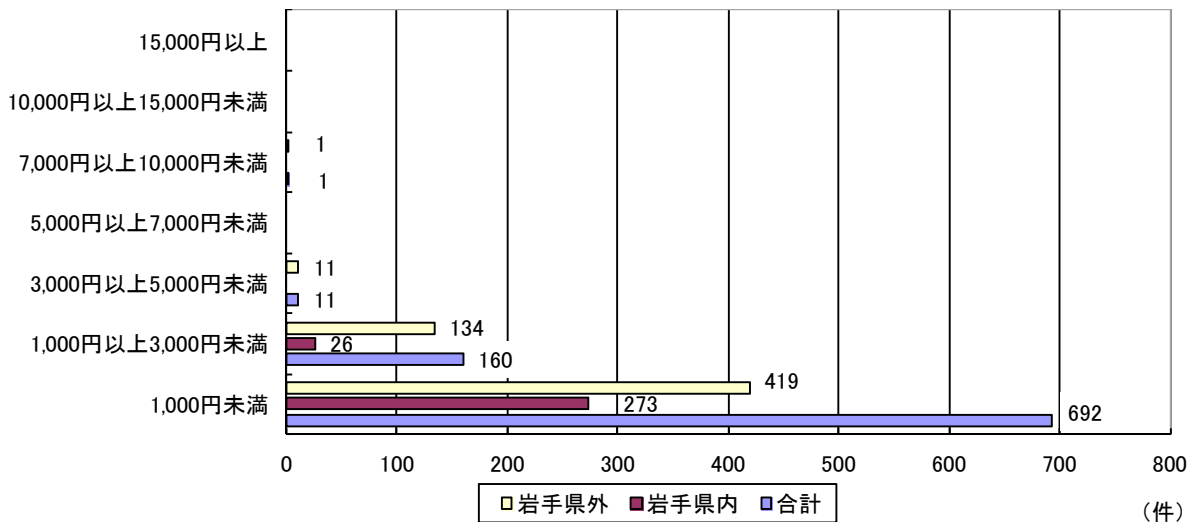


図36 岩手県内/外旅行費用の比較 (入場料・件数)

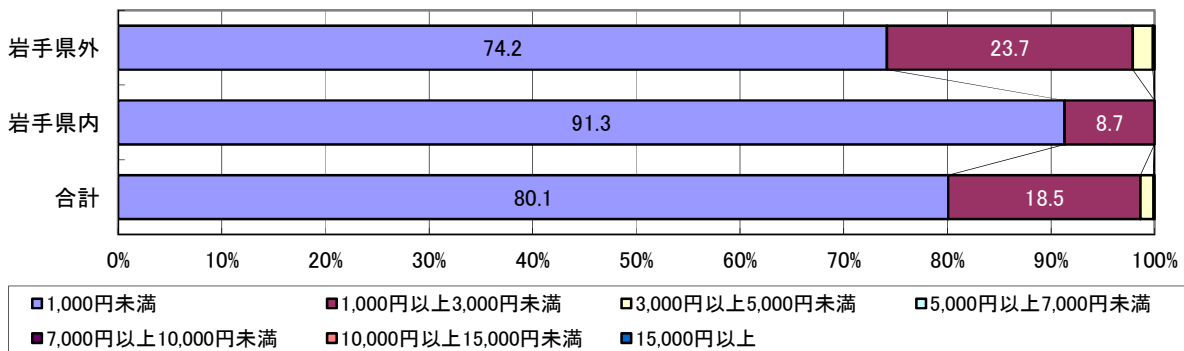


図37 岩手県内/外旅行費用の比較 (入場料・比率)

	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	80.1%	18.5%	1.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
岩手県内	91.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	74.2%	23.7%	1.9%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%

本設問より、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したものが図38、39である。  
 この図より、1人当たりのその他費用は、合計では「1,000円未満」が99.1%と、ほぼ10割を占めている。

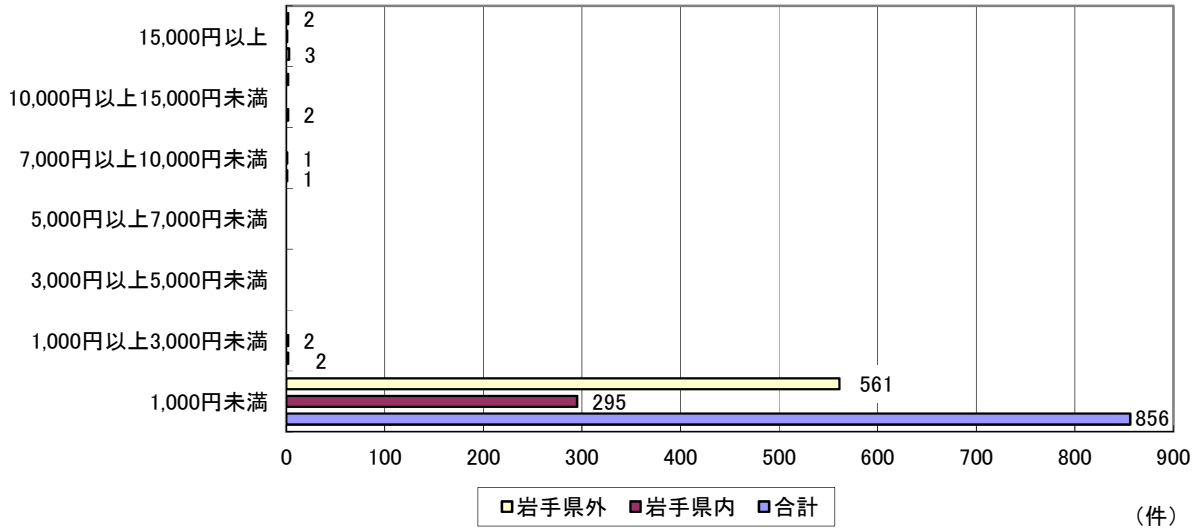
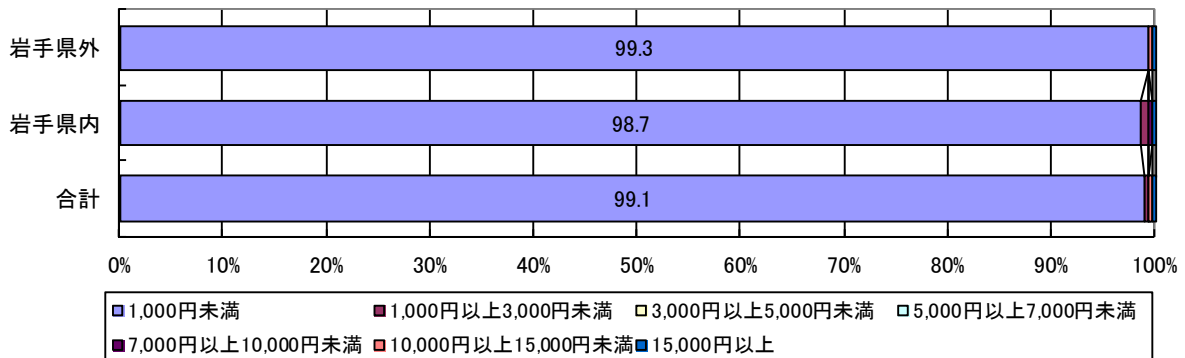


図38 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	99.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%
岩手県内	98.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%
岩手県外	99.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%

図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問より、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したものが図40、41である。  
 この図より、1人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が8割以上（87.7%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所以する。

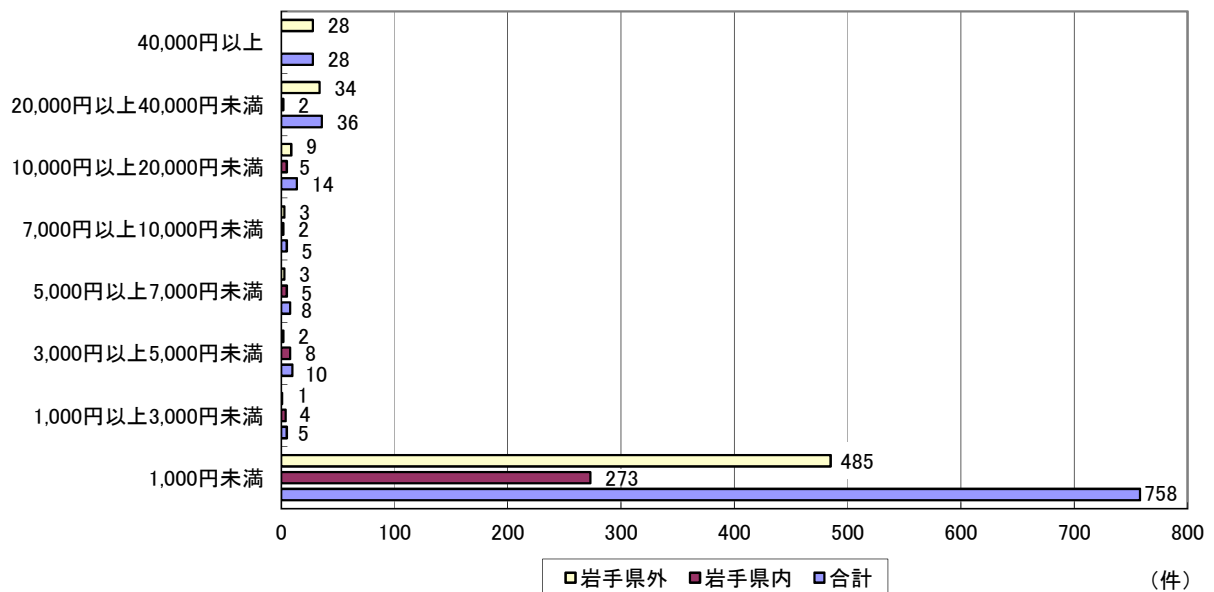
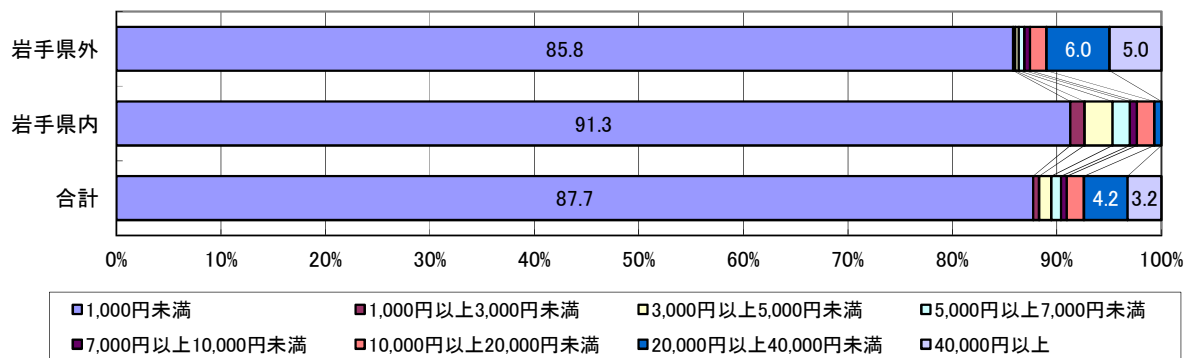


図40 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	87.7%	0.6%	1.2%	0.9%	0.6%	1.6%	4.2%	3.2%
岩手県内	91.3%	1.3%	2.7%	1.7%	0.7%	1.7%	0.7%	0.0%
岩手県外	85.8%	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%	1.6%	6.0%	5.0%

図41 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図40、図41で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計グラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 5,000円未満が5割弱（46.2%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が8割を超えている（88.8%）。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の3倍以上であった（県内来訪者：26件、県外来訪者：80件）。

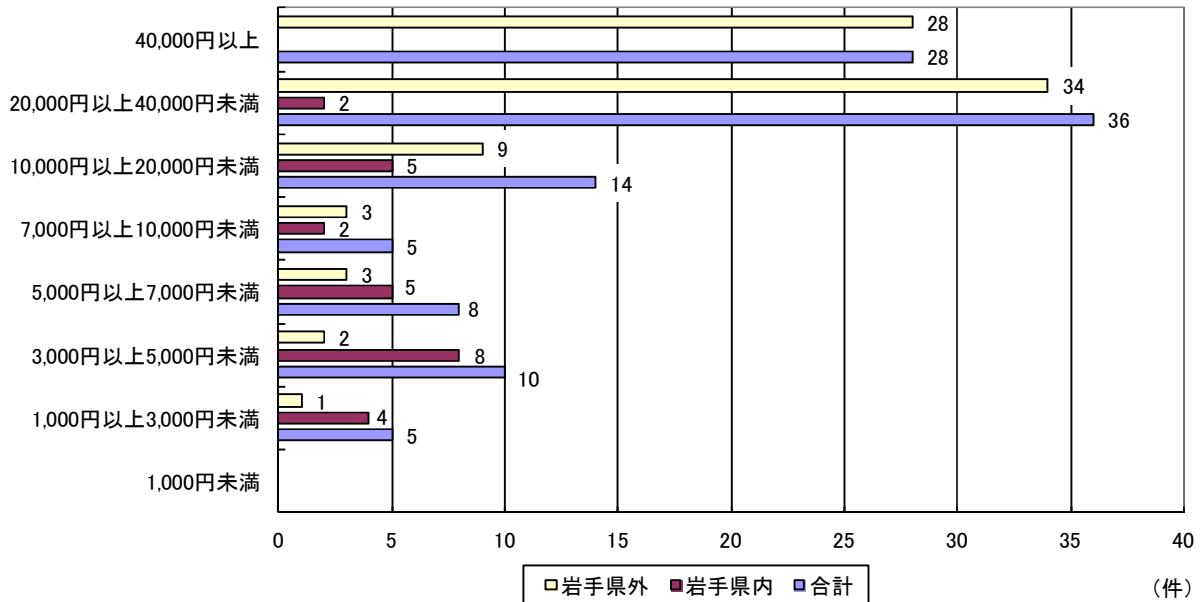
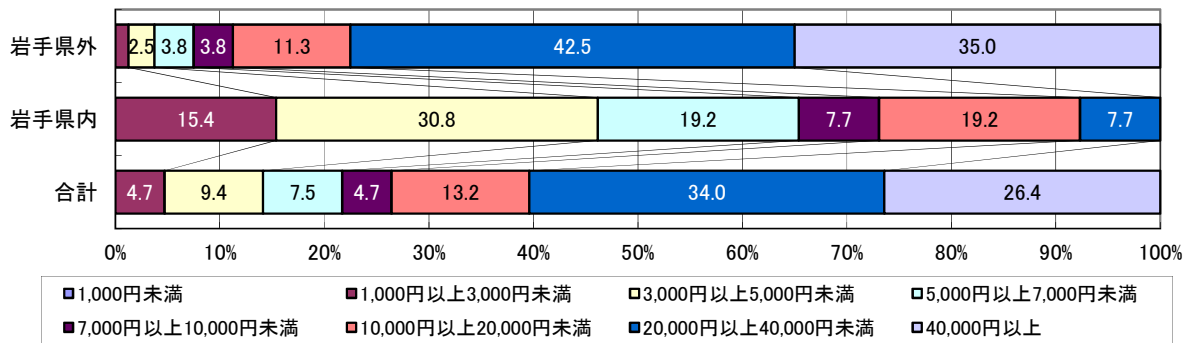


図40-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・件数 パックツアー利用者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	0.0%	4.7%	9.4%	7.5%	4.7%	13.2%	34.0%	26.4%
岩手県内	0.0%	15.4%	30.8%	19.2%	7.7%	19.2%	7.7%	0.0%
岩手県外	0.0%	1.3%	2.5%	3.8%	3.8%	11.3%	42.5%	35.0%

図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・比率 パックツアー利用者のみ)